

第6版 2024年4月

# 城東地区5区の 産業構造等の概要



## はじめに

本冊子は令和元年（2019年）から毎年、東京都中小企業診断士協会 城東支部 地域支援部が中心となり、中小企業診断士が城東地区5区（足立区、江戸川区、葛飾区、江東区、墨田区）の主に産業構造や施策に関して、詳細を調べて作成しています。

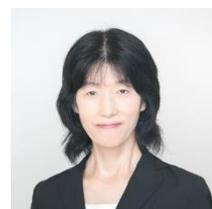
城東地区の事業者の業種や特徴等の産業構造について、当初は中小企業診断士の参考として作成していましたが、区役所の方や事業者からも参考になるとのお声をいただいたことから、城東支部ホームページで令和3年（2021年）から一般向けに公開しています。

本冊子の構成は城東地区5区毎に章立てをして、各区の概要や産業の特徴をグラフ等でわかりやすく紹介しています。また、各産業の課題をあげて、課題の解決のために各区が取り組んでいる施策として、伝統ある産業の支援、産業展等のイベント、中小企業向けの補助事業等を紹介しています。

また、東京都中小企業診断士協会 城東支部では、以前より各地区の支援を行っておりますので、城東支部と各地区のつながりも紹介しています。

本冊子が、地域の産業振興の参考になりましたら幸いです。

東京都中小企業診断士協会 城東支部  
地域支援部 部長 高田 直美



はじめに .....	1
前章 城東地区の概要 .....	5
第1章 足立区 .....	6
1. 足立区の概要 .....	6
(1) 足立区の歴史 .....	6
(2) 足立区の地理 .....	6
(3) 足立区の名所・見どころ .....	7
2. 足立区の産業の特徴と状況 .....	7
(1) 足立区の特徴と状況 .....	7
(2) 足立区の産業と課題 .....	9
3. 足立区の特徴的な取り組み .....	10
(1) 未来を拓く足立ブランドの認定 .....	10
(2) ビューティフル・ウィンドウズ運動 .....	10
(3) 大学連携事業 .....	10
(4) エリアデザイン .....	11
4. 足立区の施策 .....	11
(1) 足立区の基本計画 .....	11
(2) 足立区の産業支援 .....	12
インタビュー：足立区に聞く .....	14
第2章 江戸川区 .....	15
1. 江戸川区の概要 .....	15
(1) 江戸川区の歴史 .....	15
(2) 江戸川区の地理 .....	15
(3) 江戸川区の名所・見どころ .....	15
(4) その他 .....	16
2. 江戸川区の産業の特徴と状況 .....	17
(1) 江戸川区の特徴と状況 .....	17
(2) 江戸川区の産業と課題 .....	18
3. 江戸川区の特徴的な取り組み .....	20
(1) えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト .....	20
(2) 葛西海浜公園のラムサール条約登録 .....	20
4. 江戸川区の施策 .....	20
(1) 江戸川区の基本計画 .....	20
(2) 江戸川区の産業支援 .....	21
5. 城東支部とのつながり .....	22
インタビュー：江戸川区に聞く .....	23

<b>第3章 葛飾区</b> .....	24
1. 葛飾区の概要.....	24
(1) 葛飾区の歴史.....	24
(2) 葛飾区の地理.....	24
(3) 葛飾区の名所・見どころ.....	24
2. 葛飾区の産業の特徴と状況.....	25
(1) 葛飾区の特徴と状況.....	25
(2) 葛飾区の産業と課題.....	25
3. 葛飾区の特徴的な取り組み.....	27
(1) 葛飾区地域ブランド認定.....	27
(2) 柴又地区の重要文化的景観認定.....	27
(3) かつしか電子まつぶ.....	27
4. 葛飾区の施策.....	27
(1) 葛飾区の基本計画.....	27
(2) 葛飾区の産業支援.....	27
5. 城東支部とのつながり.....	28
インタビュー：葛飾区に聞く.....	29
<b>第4章 江東区</b> .....	30
1. 江東区の概要.....	30
(1) 江東区の歴史.....	30
(2) 江東区の地理.....	30
(3) 江東区の名所・見どころ.....	30
2. 江東区の産業の特徴と状況.....	31
(1) 江東区の特徴と状況.....	31
(2) 江東区の産業と課題.....	32
3. 江東区の特徴的な取り組み.....	33
(1) 江東区ものづくり団地（江東ブランド）の認定.....	33
(2) 江東みつばちプロジェクト®（豊洲商友会協同組合）.....	33
4. 江東区の施策.....	34
(1) 江東区の基本計画.....	34
(2) 江東区の産業支援.....	34
5. 城東支部とのつながり.....	36
インタビュー：江東区に聞く.....	37
<b>第5章 墨田区</b> .....	38
1. 墨田区の概要.....	38
(1) 墨田区の歴史.....	38

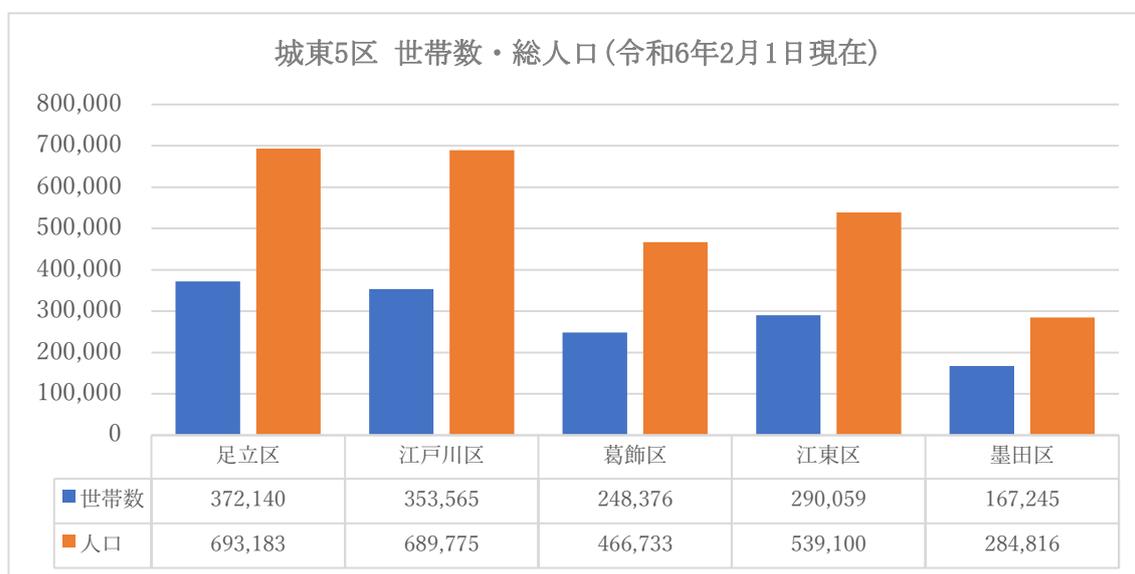
(2) 墨田区の地理.....	38
(3) 墨田区の名所・見どころ .....	38
2. 墨田区の産業の特徴と状況.....	38
(1) 墨田区の特徴と状況.....	38
(2) 墨田区の産業の課題.....	39
3. 墨田区の特徴的な取り組み.....	41
(1) すみだモダン（すみだ地域ブランド戦略）の推進 .....	41
(2) スミファ～すみだファクトリーめぐり .....	42
(3) 墨田区産業共創施設 SIC（SUMIDA INNOVATION CORE） .....	42
4. 墨田区の施策.....	42
(1) 墨田区の基本計画 .....	42
(2) 墨田区の産業支援 .....	42
5. 城東支部とのつながり .....	44
インタビュー：墨田区に聞く .....	45
おわりに .....	46

## 前章 城東地区の概要

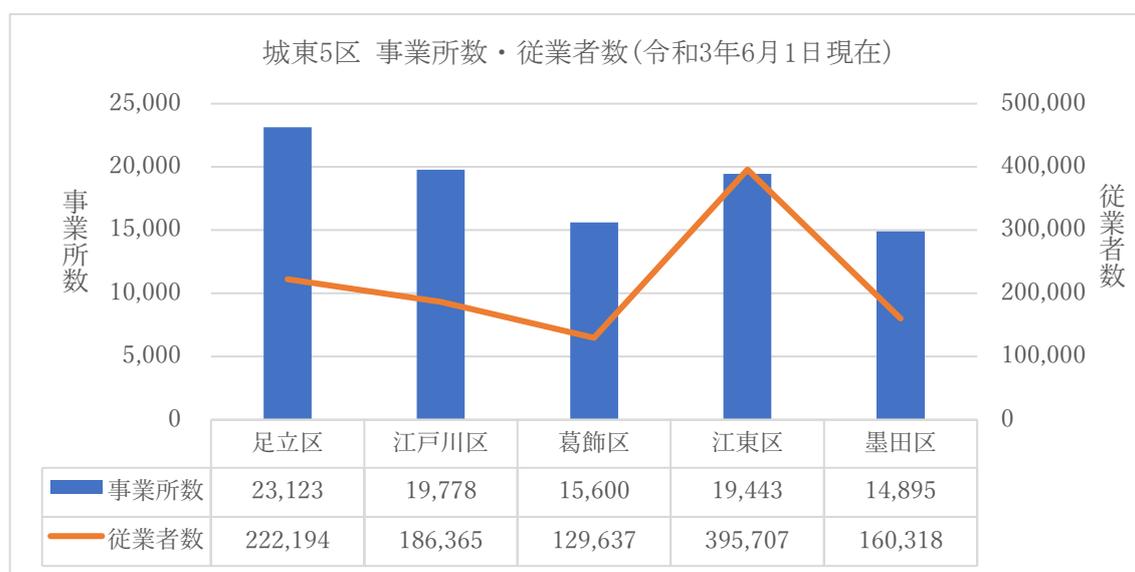
城東地区はかつての江戸城、現在の皇居から東側の地区を指す。東は千葉県、北は埼玉県と接しているこのエリアは、荒川、江戸川、隅田川と複数の一級河川が流れ、近代都市を有しながらも、自然の景観が残る一帯となっている。

東京都中小企業診断士協会 城東支部は、足立区、江戸川区、葛飾区、江東区、墨田区の5つの区を担当する支部である。

前章では、各区の世帯数・総人口および事業所数・従業者数の比較により城東地区の5区の規模感を示す。



出典：各区公表データより集計



出典：経済センサス活動調査報告より集計

# 第1章 足立区

## 1. 足立区の概要

### (1) 足立区の歴史

足立区は、その昔海辺に面した湿地帯の湿原や荒地だったといわれており、「あだち」という名の由来は、足立区の周辺に葦が多く生えていて、「葦立(あしだち)」といわれたのが「足立」になったという説がある。江戸時代の武蔵国足立郡が明治 11 年(1878 年)に南北に分かれ、東京府に属する南足立郡が今の足立区の前身となっている。「足立区」という区名は昭和 7 年(1932 年)からである。

世帯数	372,140	
人口	男性	346,893
	女性	346,290
	総数	693,183
令和 6 年 2 月 1 日現在		

總持寺(そうじじ)、通称「西新井大師」は空海(弘法大師)に由来する歴史ある寺院で、「関東三大師」の一つに数えられ、毎年、初詣の参拝客で賑わっている。



西新井大師本堂



境内に咲く梅



千住大橋

ターミナル駅として栄えている北千住駅周辺は、「千住宿」として江戸時代から物流や商業の拠点を担ってきた。文禄 3 年(1594 年)に当時隅田川に架けられた唯一の橋である千住大橋が完成し、東北へと延びる奥州街道が足立区を通り、その後日光街道ともつながった。

### (2) 足立区の地理

東京都区部(東京 23 区)の北東部に位置し、隅田川と荒川に挟まれた地区と、面積の大半を占める荒川以北の地区に分かれている。東は葛飾区、西は北区、荒川区、北は埼玉県川口市、草加市、八潮市、南は葛飾区、墨田区、荒川区に接している。

東西 11.10km、南北 8.79km と広がり、総面積は 53.25 km<sup>2</sup>。区部では大田区、世田谷区に次いで第 3 位の広さである。



### (3) 足立区の名所・見どころ

足立区は荒川をはじめとした豊かな水辺や、区内に点在する自然環境に恵まれている。北千住など人気のエリアのほか、厄除けで有名な西新井大師や都内屈指の広さを誇る舎人公園、足立区政 50 周年を記念し建設された花畑記念庭園等の見どころがある。

区内外へ伝えたい魅力的な光景を発信すべく、足立区観光交流協会が「あだち観光ネット」ホームページを通じて情報発信をしている。「足立区が誇る 5 大イベント」として紹介されているのは以下の通りである。

時期	名称	場所
4 月	舎人公園 千本桜まつり	都立舎人公園
6 月	しょうぶまつり&世界の食広場	区立しょうぶ沼公園、都立東綾瀬公園
7 月	足立の花火	荒川河川敷
10 月	あだち区民まつり	荒川河川敷（虹の広場）
12 月	光の祭典	竹ノ塚駅東口駅前ロータリー～元湊江公園

出典：あだち観光ネット (<http://adachikanko.net>)



## 2. 足立区の産業の特徴と状況

### (1) 足立区の特徴と状況

#### ア. マクロ状況

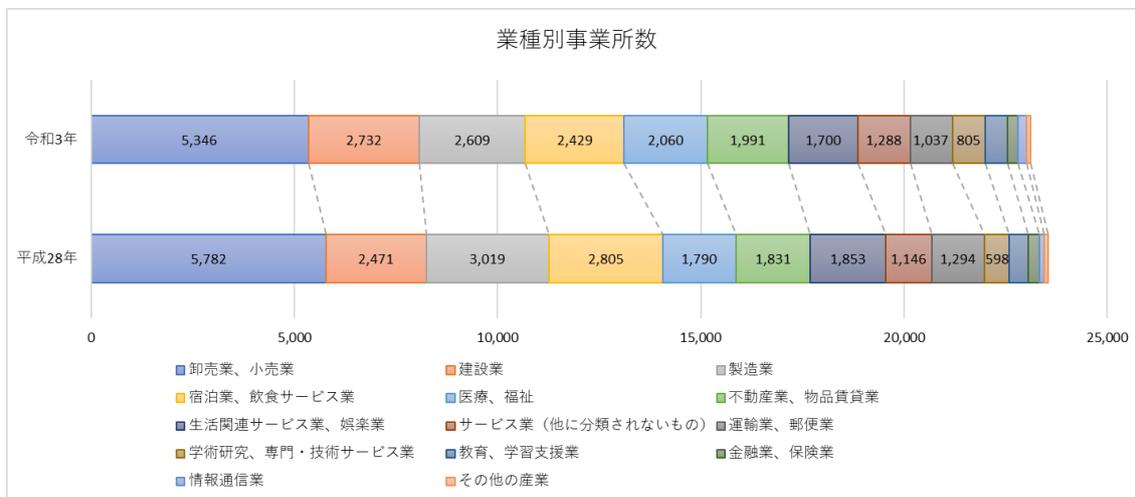
令和 3 年経済センサス活動調査によると、足立区の民営事業所数は 23,123 と区部で 8 位、従業者数は 222,194 人で区部 13 位と事業所に比べて順位が低い。平成 28 年経済センサス活動調査と比較すると、事業所数は減少、従業者数は増加していることから、1 事業所あたりの従業者数は増加していることがわかる。

経営組織別に足立区の実業所をみると、「個人経営」は 6,895 (29.8%)、「法人」は 16,197 (70.0%) となっている。平成 28 年経済センサス活動調査と比較すると、法人の比率が高くなっている。一方で、東京都全体の事業所数の構成比は、「個人」が 22.2%。「法人」が 77.5%となっていることから、足立区は個人経営の実業所が比較的多いことがわかる。

#### イ. 産業別状況

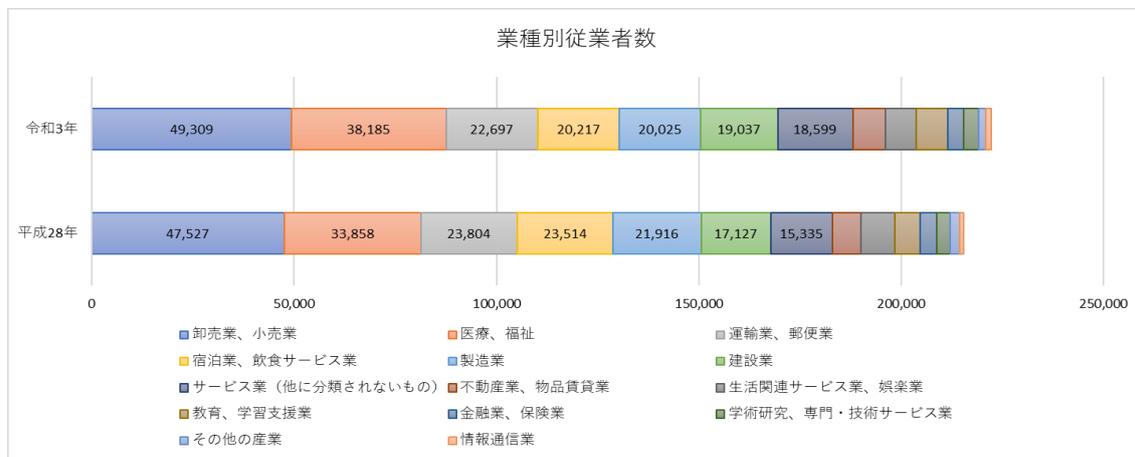
令和 3 年経済センサス活動調査によると、事業所数の構成比は「卸売業、小売業」が 23.1% と最も高く、次いで「建設業」11.8%、「製造業」11.3%、「宿泊業、飲食サービス業」10.5% と続いており、この 4 産業で構成比の 5 割以上を占める。平成 28 年経済センサス活動調査と比較すると、特に事業所数が増加しているのは「医療、福祉」で 270 増加 (増加率 15.1%)、「建設業」で 261 増加 (同 10.6%)、「学術研究、専門・技術サービス業」で 207 増加 (同 34.6%) となっている。一方で、減少が大きかったのは、「卸売業、小売業」で 436 減少 (同

▲7.5%)、「製造業」で410減少(同▲13.6%)、「宿泊業、飲食サービス業」で376減少(同▲13.4%)となっている。



出典：経済センサス活動調査より、筆者作成

従業者数の構成比をみると、「卸売業、小売業」が22.2%と最も高く、次いで「医療、福祉」が17.2%、「運輸業、郵便業」が10.2%、「宿泊業、飲食サービス業」が9.1%、「製造業」が9.0%、となっており、この5業種で7割近くを占める。



出典：経済センサス活動調査より、筆者作成

## (2) 足立区の産業と課題

### ア. 足立区の製造業の特徴

#### ①足立区の製造業の状況

足立区は金属製品、なめし革・同製品・毛皮、印刷・同関連産業などを中心産業としてきたが、都内のほかの代表的な工場集積地区と同様、急減傾向にある。

令和3年経済センサス活動調査によると、足立区の製造業は事業所数では2,609と区部で2位、従業者数は20,025人と区部9位と上位にある。一方、従業者一人当たりの粗付加価値額は871万円と区部で17位となっており、労働生産性は低い状況である。多くの小規模事業者は、原材料価格高騰等の外部環境と同時に、経営者の高齢化と後継者不足などの内部環境の影響を大きく受け、今後も厳しい状況であることが想定される。

#### ②足立区の製造業の課題

厳しい環境の中で経営力の維持・強化を図っていくために、自社にない技術を保有する企業との連携を通じた技術レベルの強化や販路開拓等の取り組みが求められる。また、経済環境や顧客ニーズ等の変化に合わせた、より高付加価値な製品の開発にも取り組むことで、生産性の向上および収益力の維持・強化を進めていく必要がある。

### イ. 足立区の商業の特徴

#### ①足立区の商業の状況

令和3年経済センサス活動調査によると、卸売・小売業の商店数は4,111、従業者数は40,590人、年間商品販売額は1兆3,978億円となっている。

卸売業は事業所数では「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」が最も多く、従業者数と年間商品販売額は「飲食料品卸売業」が最も多い。

小売業の事業所数と売場面積は「その他の小売業」が最も多く、従業者数と年間商品販売額は「飲食料品小売業」が最も多い。

#### ②足立区の商業の課題

令和3年7月に足立区が実施した「消費・就労に関する意識調査」によると、区民の85.9%がキャッシュレス決済の利用ありと回答しており、区民生活にもキャッシュレス決済が浸透していることがわかる。一方で、令和3年10月に実施された足立区商店街振興組合連合会加盟店舗の決済方法調査では、スマホ決済、その他のキャッシュレス決済ともに50%以上の店舗が「導入していない」と回答しており、今後事業者側のさらなる対応促進が求められる。消費者のニーズに合った実店舗の魅力や利便性の向上が必要である。

### ウ. 足立区の農業の特徴

#### ①足立区の農業の状況

東京都産業労働局農林水産部の「東京都農作物生産状況調査」（令和2年産）によると枝豆の収穫量は区部2位、小松菜は3位である。また、区内では野菜のほかに、夏菊などの切

花を中心に花苗なども栽培されている。小松菜の地域ブランドである「あだち菜」とそれを用いた「あだち菜うどん」など農作物のブランディング活動もおこなわれている。

## ②足立区の農業の課題

農家数、農業就業人口いずれも減少傾向にあり、農業の担い手不足が進んでいる。担い手不足の解決には、認定農業者や新規就農者の育成・支援について、東京都や JA 東京スマイルなどの関係団体との連携や、区内農業のサポーター的な役割を果たす農業ボランティアの活躍が必要である。

## 3. 足立区の特徴的な取り組み

### (1) 未来を拓く足立ブランドの認定

足立区では平成 19 年度（2007 年）から「足立ブランド」を展開している。区内産業の優れた製品・技術を認定し、その素晴らしさを全国に PR しネットワークを広げていくことで、区内産業のより一層の発展と足立区のイメージアップを図ることを目的としている。認定製品・技術には「認定ロゴマーク」を付与し、販路拡大のための PR 支援などを展開している。令和 4 年末（2022 年）時点で 65 社を認定している。

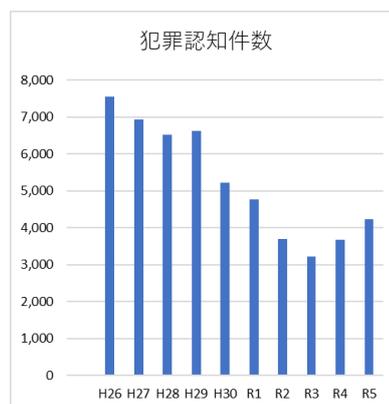
足立ブランド認定企業が集結するチーム「FC ADACHI」は区内産業主たちの業種を越えた集合体で、地場産業からブランド事業を通じて足立区を盛り上げるチームとして、大学との連携や企業間交流を行い、ものづくりの新たなネットワークを広げている。

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/s-shinko/shigoto/shogyo/brand-toha.html>



### (2) ビューティフル・ウィンドウズ運動

足立区では警察や区民と連携して犯罪のない美しい住みよいまちをめざす「ビューティフル・ウィンドウズ運動」を展開している。令和 5 年（2023 年）の刑法犯認知件数は 4,222 件で、10 年前の平成 26 年（2014 年）の 7,561 件に比べ大きく減少している。令和 4 年度（2022 年）の「足立区政に関する世論調査」によると、居住地の治安が良いと感じている区民は直近 5 年で年々増加しており、令和 4 年度（2022 年）では 64.5% まで増加している。



<https://www.city.adachi.tokyo.jp/kikikanri/ku/koho/b-windows.html>



### (3) 大学連携事業

現在足立区には、6 つの大学がキャンパスを開設しており。足立区ではこの区内六大学を中心に、さまざまな大学との連携をおこなっている。「夢をかなえよう。with あだちの 6 大

学」と銘打ち、連携講座やイベントの開催といった連携事業を開始し、活力あるまちづくりや区のイメージアップを図っている。

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/citypro/ku/koho/daigakurenke.html>



#### (4) エリアデザイン

足立区ではエリアデザイン計画を策定して、まちづくりを進めている。エリアデザインとは、まちの特徴・魅力や求めるべき将来像などをエリアデザインとして、区内外に広く発信することで、足立区のイメージアップや、地域の活性化を図る新しいまちづくりの取り組みである。「綾瀬・北綾瀬」「六町」「江北」「花畑」「千住」「西新井・梅島」「竹の塚」の7つのエリアにおいて、大規模な区有地等を活用し、民間活力によるまちの整備を積極的に進めている。



東京女子医科大学附属  
足立医療センター



鉄道高架化が完了した竹ノ塚駅周辺

<直近の取り組み例>

エリア	取り組み例
綾瀬・北綾瀬	綾瀬駅東口駅前広場整備を準備中
六町	(仮称) 六町駅前安全安心ステーションを開設
江北	東京女子医科大学附属足立医療センター開設と周辺の環境整備を実施中
花畑	文教大学東京あだちキャンパス開設と、周辺の環境整備を実施中
千住	西口駅前の再開発、5つの大学誘致
西新井・梅島	西新井・梅島エリアデザイン計画策定、駅周辺の環境整備を準備中
竹の塚	鉄道高架化の工事による回遊性の高いまちづくりが進行中

[https://www.city.adachi.tokyo.jp/sesaku/20141106senryaku\\_keikaku.html](https://www.city.adachi.tokyo.jp/sesaku/20141106senryaku_keikaku.html)



### 4. 足立区の施策

#### (1) 足立区の基本計画

##### ア. 足立区基本構想

「協創力でつくる 活力にあふれ 進化し続ける ひと・まち足立」を区が目指す姿・将来像として掲げて平成28年(2016年)10月に策定され、平成29年(2017年)4月から施行されている。

##### イ. 基本計画(令和3年3月改定)

基本計画は、「足立区基本構想」で示した将来像の実現に向けて、区政全体の目標や基本的な考え方を整理し、具体的な施策を体系的にまとめたものであり、区のすべての取り組みは、基本計画に基づいて実施されている。平成29年(2017年)2月に現在の基本計画(計画期間:平成29年度から令和6年度)を策定したが、社会情勢の変化等により、取り組む

べき新たな課題や、取り入れるべき新たな考え方が生じたため、令和3年（2021年）3月に改定された。

## (2) 足立区の産業支援

各種相談窓口や、助成金、補助金など、さまざまな支援が用意されている。

### ア. 相談・マッチング支援

- IT・IoT相談：IT・IoT活用による生産性と効率向上の無料相談
- トータルマッチング事業：企業を訪問し、中小企業支援制度をニーズに合わせて紹介
- 中小企業経営者のための相談窓口：専門的知識と経験を持つ各種相談員が無料対応
- 女性起業、経営相談窓口：女性中小企業診断士による起業や経営に関する相談
- 事業者何でも相談：事業所を訪問して様々な困りごとや悩みの解決をサポート
- オンライン中小企業相談：Web会議サービスを利用したオンライン相談
- 経営力向上計画作成支援：中小企業診断士が経営力向上計画の作成を無料で支援
- 中小企業らくらくメール相談：Eメールにて経営相談・質問に回答
- ウェブ活用アドバイザー：事業所を訪問してウェブ活用の無料相談に対応

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/shigoto/chushokigyo/keieikoza/index.html>



### イ. 創業支援

- 創業支援施設：これから創業をする方、創業3年未満の個人・法人に相場より安価にオフィスを提供、経営相談員に経営全般のノウハウや資金繰りなど相談可能、セミナーや公的機関助成金などの有益な情報を提供
- 足立区中小企業融資/創業資金：中小企業者にむけた融資のあっせん、金融機関に支払う利息や保証協会に支払う信用保証料の補助

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/shigoto/chushokigyo/sogyo/index.html>



### ウ. 助成金、補助金

- 足立区運輸事業者エネルギー価格高騰対策支援金：エネルギー価格高騰の影響を受け、価格転嫁が困難な区内の中小運輸事業者に対し、経費負担削減策として支援金を交付
- IT・IoT導入補助金：IT・IoTの導入に係る費用を補助
- ホームページ作成・更新補助金：ホームページの新規作成や全面改修する費用を助成
- 小規模事業者経営改善補助金：機械設備等購入費補助、店舗改修費補助等
- 産業技術・経営研修会助成金：企業や産業団体の研修費用を助成
- 見本市等助成事業補助金：国内外・オンラインの見本市に出展する費用を助成
- 技術支援補助金：大学や産技研からの技術支援を受けた際の費用の助成

- 新製品・新事業開発補助金：新製品・新技術・新サービスの開発経費を補助
- 働くパパママ育業応援奨励金：育業推進の取組を行った企業等に奨励金支給
- ISO 認証取得助成金：ISO 認証取得に要した経費を助成
- 知的財産権認証取得助成金：知的財産権の認証登録取得に要した経費を助成
- 就業規則作成助成金：就業規則作成・変更に係る社会保険労務士への委託費用を助成
- 専門家派遣助成金：専門家の派遣を受けた場合の経費を助成

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/shigoto/chushokigyo/jose/index.html>



## 足立区に聞く

足立区 産業経済部 企業経営支援課長 鈴木 孝昌



### ■BCP（事業継続計画）

元旦に起きた能登半島地震の被災地に区の職員が支援に赴き目にした実例を基に、災害に弱い建物やブロック塀の解体等に対する助成金を令和6年度の予算案に盛り込みました。災害に弱い地域の減災を促すとともに、民間事業者と組んで事業者むけの事業継続力強化のワークショップを行うなど、災害対策の周知に取り組んでいます。

### ■物価高騰対策

物価高騰対策は、区としても特に重点的に取り組んでいる分野です。キャッシュレス決済のポイント還元事業、各種商品券事業などを行い小売業や飲食業などを中心として「切れ目のない消費喚起策」を行います。また「小規模事業者改善補助金」を設けて経営改善にむけた設備投資を支援します。数年前から設けている補助金ですが、昨今の物価高騰を受けて補助上限額と補助率を増やし、適用対象事業者の従業者要件を緩和してさらに使い勝手が良い補助金に改良しています。また、経営改善の手段としてのIT投資を促すべく、「IT・IoT導入補助金」や「IT・IoT相談」窓口を設けており、相談事例も増えてきています。それに加えて金融機関と連携した制度融資制度を設けており、事業者を財務面から下支えしています。物価高騰がきっかけではあるものの、これを機会と捉えて前向きな経営改善に取り組む事業者の背中を押すような施策設計を心掛けています。

施策の周知も重要です。補助金の情報をまとめて「産業支援ハンドブック」、チラシ、広報誌に掲載し、中小企業診断士5名による「マッチングクリエイター」を組成して区内の事業者を巡回訪問したり、各種団体と連携して事業者へ配布したり、区内全戸配布をするなどして全ての事業者・家庭へと周知を図っているところです。

### ■脱炭素

「オール足立で脱炭素」のスローガンを掲げて取り組んでいる分野です。新たに「省エネルギー対策工場設置更新補助金」を設け、CO<sub>2</sub>の診断を受けた事業者に対して、所定の設備投資を補助します。また「新製品・新事業開発補助金」では、新製品や新事業をプレゼンしていただき毎年3社程度を採択していますが、評価項目にSDGs加点を設け、特に脱炭素に寄与するものに加点評価をしています。こうした制度を背景に区内事業者の脱炭素にむけた取り組みを促すこととしています。

(令和6年2月取材)

## 第2章 江戸川区

### 1. 江戸川区の概要

#### (1) 江戸川区の歴史

昭和7年（1932年）の市郡合併により、それまでの南葛飾郡は廃止され、小松川町、葛西村、篠崎村、松江町、瑞江村、小岩町、鹿本村の7町村が併合されて東京市江戸川区が誕生した。区名は、区を南北に流れる江戸川に由来する。ちなみに、江戸川の名前は「江戸へ通じる川」という意味で名付けられた。

世帯数	353,565	
人 口	男性	347,053
	女性	342,722
	総数	689,775
令和6年2月1日現在		

#### (2) 江戸川区の地理

江戸川区は東京都の最東端に位置し、南北に長い形をしている。西に旧中川・荒川、東に江戸川、中央に旧江戸川が通る水辺のエリアである。東西約8km、南北約13kmで、面積は49.09km<sup>2</sup>あり、23区中4番目の広さである。区内には多くの公園が存在し、7.82km<sup>2</sup>を誇る公園総面積は23区で1位となっている（後述（4）ウを参照）。



出典：江戸川区 HP

区の西側は海拔ゼロメートルあるいはマイナス地帯である。三方を川と海に囲まれているため、大規模水害が発生すると浸水が長期化することが懸念されている。江戸川区では

「江戸川区水害ハザードマップ」を作成し、いざというときの注意喚起を行っている。しかし、「令和4年度江戸川区作業実態調査」によると、「BCPの策定」は事業所全体の3.0%に留まっている。

[https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e007/bosai/kanrenmap/n\\_hazardmap.html](https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e007/bosai/kanrenmap/n_hazardmap.html)



#### (3) 江戸川区の名所・見どころ

江戸川区には「日本の渚百景」にも選ばれた「葛西海浜公園」がある。同公園は、東京都で初めてのラムサール条約湿地（正式名称「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」）に登録された。毎年、多くの渡り鳥が越冬地・休息地等として飛来している。

主な観光名所	主な年中行事など
葛西臨海公園内	野鳥観察、お魚観察、カヌー体験、海水浴等（随時）
小岩駅 周辺	小岩阿波おどり（7月第1週）
行船公園	金魚まつり（7月中旬）
船堀タワー	展望塔で眺める初日の出（元日）
江戸川河川敷	江戸川区花火大会（8月上旬）
篠崎公園	江戸川区民まつり（10月中旬）

隣接する「葛西臨海公園」には、国内で2番目(直径111m、高さ117m)に大きな観覧車や、日本有数の水族館である「葛西臨海水族園」がある。「葛西臨海水族園」は営業を続けながら令和10年(2028年)3月に大規模リニューアルを予定している。



葛西臨海公園 観覧車



葛西臨海公園 水族園

また、江戸川区には、都内に住むインド人の約4割が住んでおり、東京都の統計によると、令和6年(2024年)1月時点で6,881人にのぼる。特に西葛西は日本屈指のインド人街「リトルインディア」と呼ばれている。平成31年(2019年)には江戸川区議会議員選挙において、全国で初めてインド出身の議員が生まれた。

このほか、昔ながらの独特な雰囲気と多くの飲食の名店で人気を集める小岩エリアなど、江戸川区は、自然と多様な文化の魅力にあふれている。その魅力を広く伝えるため、江戸川区は平成22年(2010年)に120の景観ポイントを「えどがわ百景」として選定(平成30年4月より133の景観ポイント)。パンフレットや探訪マップの配布、カレンダーや切手などのグッズ販売、写真展等で積極的にPRするとともに、ロゴマーク使用制度により区内事業者の「えどがわ百景」を活用した事業を支援している。

#### (4) その他

##### ア. 江戸川区の交通

江戸川区には5つの鉄道路線(北から京成本線、JR総武線、都営地下鉄新宿線、東京メトロ地下鉄東西線、JR京葉線)が東西方向に走っている。南北を結ぶ交通手段はバスとなっており、南北に長い形のため、各鉄道路線間をバスで移動しなければならない地域が数多く存在する。

一方、道路事情に目を向けると、京葉道、首都高湾岸線、首都高中央環状線といった高速道路が3本走っており、千葉、湾岸地域、都心部などへのアクセスは良好である。一般道路では、区を中心部を環状7号線が縦断しているのをはじめ、千葉街道など片側2車線以上の大通りが多数あり、道幅も比較的広いため、車での移動が容易になっている。また、区内がほぼ坂道のない平坦な地形であるため、自転車での移動も活発であり、平成28年度末時点で35kmであった自転車通行帯(ブルーレーン)は、更に62km整備する計画により、令和8年度末に総計約100kmとなる予定である。



出典：江戸川区 HP

## イ. 金魚三大産地

江戸川区は弥富市（愛知県）、大和郡山市（奈良県）と並び、「金魚三大産地」として知られている。しかし、江戸川区の都市化が急速に進んだことから、区内の養魚業者は他県へ移転したり、転廃業したりして徐々に減少し、最盛期に23軒あったが、令和5年（2023年）には、2軒になっている。養魚業者は減ったものの、全国大会で賞を取るなどの優れた技術は今も息づいている。

毎年7月に行船公園で開催される「金魚まつり」は多くの来場者でにぎわっている。江戸川区では、金魚をもっと身近に感じてもらうために生まれたキャラクター、江戸っ子金魚「えど金ちゃん」を通じて、区特産の金魚を全国にPRしている。



出典:江戸川区 HP

## ウ. 公園

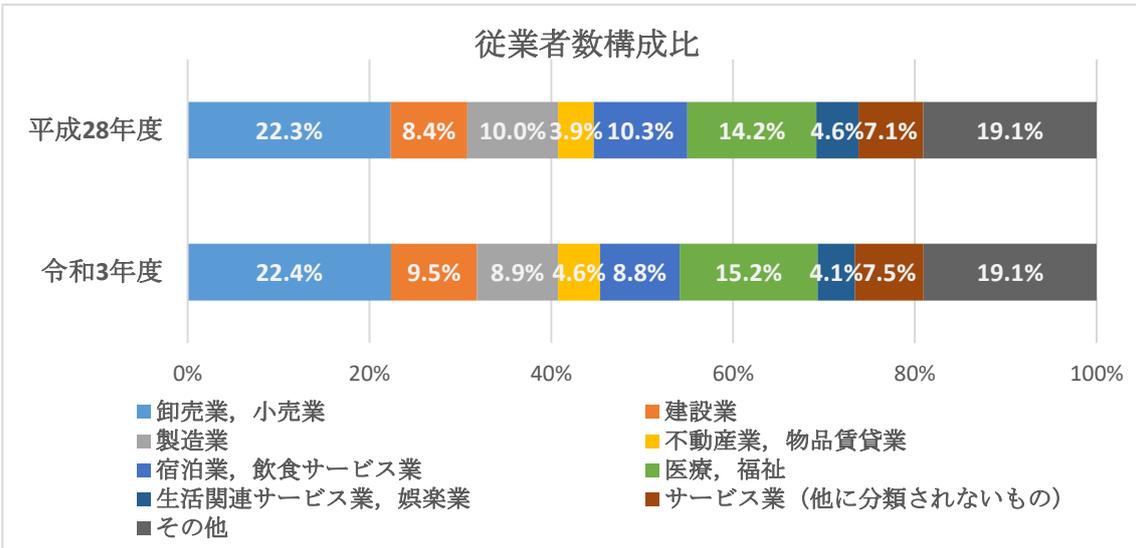
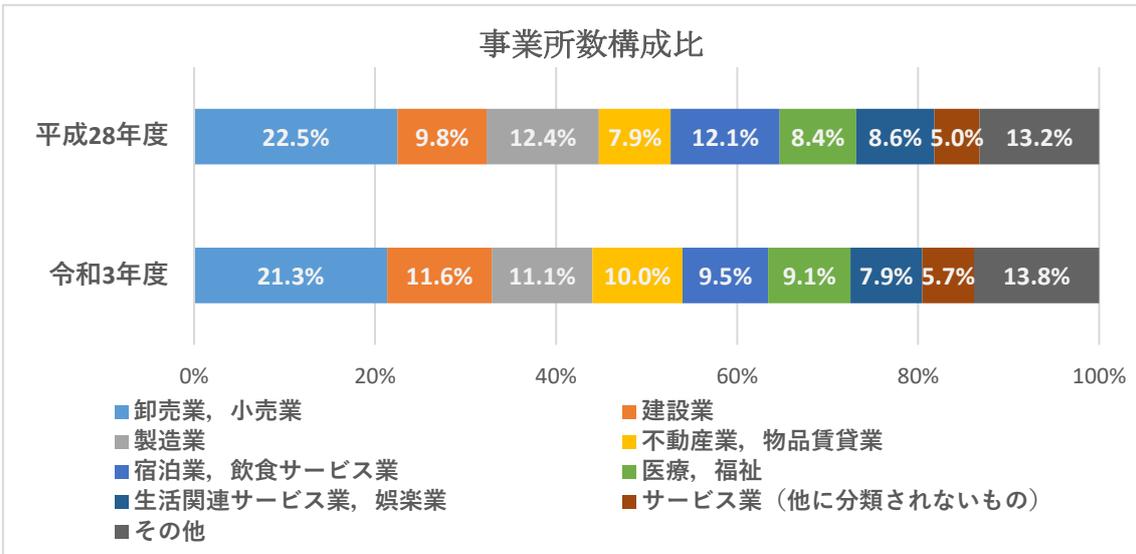
東京都建設局の「東京都都市公園等区市町村別面積・人口割比率表（令和5年）」によると、江戸川区の公園総面積は7,823,581㎡と東京都内（23区および市町村含める）で1番広く、1人当たりの公園面積も皇居外苑のある千代田区を除くと23区で最も広い区となっている。

## 2. 江戸川区の産業の特徴と状況

### (1) 江戸川区の特徴と状況

令和3年経済センサス活動調査によると、総事業所数は23区中12位の19,778で、従業者数は186,365人となっており、23区内で比較すると建設業、製造業の比率が高いという特徴がある。江戸川区全体の事業所数としては減少傾向にある。

農業分野では、花き・野菜等の農業産出額13億5700万円（令和3年）は23区で1位である。代表的な特産物として、江戸川区小松川の地名に由来する小松菜や、鹿骨地区の花き（ポインセチア、シクラメン、朝顔、菊、バラ等）がある。「東京都農作物生産状況調査」によると、江戸川区の小松菜収穫量（令和3年産）は2,720tで、東京都全体の小松菜収穫量（6,808t）の約40%を占めており、東京都内では1番の収穫量を誇る。



出典：経済センサス活動調査報告より、筆者作成

## (2) 江戸川区の産業と課題

### ア. 江戸川区の工業の特長

#### ①江戸川区内の工業の状況

江戸川区は、東京都城東地域に位置する工業集積地域である。

製造業の事業所数は2,197で、大田区、足立区、墨田区、葛飾区、台東区に次ぎ23区中第6位である。内訳は金属製品製造業、生産用機械器具製造業、繊維工業が多い。製造業全体に占める割合のうち、従業者数0-4人の事業所が71.0%、5-9人が15.9%であり、居住地と職場が近い「職住近接」の事業所が数多く存在する。

建設業の事業所数は2,288で、足立区、練馬区に次ぎ23区中第3位である。

## ②江戸川区の工業の課題

河川沿岸や平井地区、船堀～新小岩間の区域が準工業地域に指定され、金属製品製造業、生産用機械器具製造業、繊維工業、印刷・同関連業等が区内産業の基盤を担ってきた。しかし、国際化や高度情報化、高齢化や事業継承の問題、環境への配慮などで、他地域と同様に製造業は減少傾向であり、鉄道駅近辺を中心とした利便性の高い土地は、工場からマンション・建売住宅などへの宅地化が進んでいる。

そうした状況下、江戸川区はものづくり産業の発展を支援するため、斡旋融資制度をはじめとするさまざまな助成制度を実施している。

## イ. 江戸川区の商業の特徴

### ①江戸川区の商業の状況

令和3年経済センサス活動調査によると、江戸川区における商業（卸売業・小売業）の事業所数は4,219、従業者数は41,784人となっている。

卸売業については、事業所数が1,422で「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」が最も多く、従業者数が11,601人で「その他の卸売業」が最も多い。

小売業については、事業所数が2,797で「その他の小売業」が最も多く、従業者数が30,183人で「飲食料品小売業」が最も多い。

### ②江戸川区の商業の課題

江戸川区の商業事業所数は減少している。江戸川区を通る鉄道は、新宿や秋葉原、錦糸町など、大型商業施設が多くある都市へのアクセスが良いため、買回り品を中心に買い物客が都心部へ流れやすい傾向がある。また、鉄道駅から徒歩圏外の地域では、その地域の生活を支えるスーパーや商店街が存在している。地域のためにも、それらの事業所の継続支援が求められている。



昭和通り商店街

出典：江戸川画像文庫©江戸川

### 3. 江戸川区の特徴的な取り組み

#### (1) えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト

「工芸者と美大生が江戸川からこれからの伝統をデザインする」をコンセプトに、江戸川区の伝統工芸者と美術大学（多摩美術大学、女子美術大学、東京造形大学）が連携し、新しい伝統工芸製品を創る事業。平成15年度（2003年）に江戸風鈴、つりしのぶ等の伝統工芸者10人、学生約150人でスタート。これまで学生延べ2,182人が参加し、約933作品が商品化された。平成20年（2008年）にはグッドデザイン賞を受賞した。

えどがわ伝統工芸産学公プロジェクトで生み出された商品は、江戸川区の名産品を販売するネットショップ『えどコレ!』（楽天市場）で販売している。

#### えどがわ伝統工芸



出典：江戸川区 HP

<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/shigotosangyo/project/index.html>



#### (2) 葛西海浜公園のラムサール条約登録

平成30年（2018年）10月、葛西海浜公園が、国際的に重要な湿地を保全する「ラムサール条約湿地」に都内で初めて登録された。葛西海浜公園には、多くの渡り鳥が飛来するとともに、準絶滅危惧種のトビハゼを含む多種多様な生物が生息している。

貴重で自然豊かな環境の保全と活用に関心が多く向けられ、近隣施設への集客増や、区のイメージアップに繋がっている。



出典：江戸川区 HP

### 4. 江戸川区の施策

#### (1) 江戸川区の基本計画

江戸川区では、「2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）」、「2030年の江戸川区（SDGsビジョン）」の2つの長期計画と中期計画が策定されている。今から2100年にかけて江戸川区の人口、区のお金、職員数は大きく減りおおよそ2/3程度になると予想されている。ともに生きるまちを目指して、ともに力をあわせて2100年を迎えられるような計画が制定されている。

## (2) 江戸川区の産業支援

### ア. 産業ときめきフェア in EDOGAWA

製造業を中心とした企業が一堂に会し、展示・実演などを通じて優れた製品・技術力を紹介する展示講演会。ビジネス情報の交流を促進し、企業の活性化を図ることを目的として開催されるものである。第25回目となる令和5年(2023年)は11月17日(金曜日)から11月18日(土曜日)までタワーホール船堀で開催された。

<https://sangyoutokimeki.jp/>



### イ. えどがわ起業家ゼミナール

起業に必要な知識やスキル学習のためのセミナーを、基礎編、ステップアップ編と2段階で展開している。知識取得から事業プランの作成、発表会までをおこなう。

本講座の受講生で一定の条件を満たすと「産業競争力強化法に基づく特定創業支援等事業の認定による支援」を受けることが可能となり、登記にかかる登録免許税の軽減や、融資保証枠等の拡大が活用できる。

[https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e032/shigotosangyo/jigyosha\\_oen/sangyo\\_jigyosya/sougyo\\_shien/kigyoka\\_seminar/index.html](https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e032/shigotosangyo/jigyosha_oen/sangyo_jigyosya/sougyo_shien/kigyoka_seminar/index.html)



### ウ. えどがわ起業ビジネスプランコンテスト

江戸川区内で新たに起業を考えている人を対象に実施するビジネスプランコンテスト。書類審査とプレゼンテーション審査を行い、入賞者を決定する。入賞者が江戸川区内で実際に起業した場合、起業にかかる経費の一部を区が助成する。

第20回となる令和6年(2024年)は、2月19日(月曜日)に応募受付が締め切られ、3月16日(土曜日)に最終審査が行われた。

[https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e032/shigotosangyo/jigyosha\\_oen/sangyo\\_jigyosya/sougyo\\_shien/contest/bpc/20businessplan.html](https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e032/shigotosangyo/jigyosha_oen/sangyo_jigyosya/sougyo_shien/contest/bpc/20businessplan.html)



### エ. 江戸川区中小企業DX応援隊

区内の中小企業の経営者がDX推進に取り組む際に円滑に実施が進められることを目的に、DX推進に役立つスキルなどの知識・ノウハウや、セミナーの案内、事例を紹介している。DXの悩み・課題については相談窓口から問い合わせが可能となっている。

<https://dx-city-edogawa.jp/>



## オ. えどがわ産業ナビ

区内の会社・店舗などの情報を紹介する、登録および利用が無料のインターネットサイトである。区内事業者の事業内容や各種情報（空き店舗、貸し工場、求人情報）、ニュース（製品情報、キャンペーン、ビジネスマッチング）、セールスポイントなどを発信し、新規顧客や取引先の開拓に利用できる。また区内の補助金、助成金、セミナーといった産業支援情報の検索をするにも便利なサイトである。



出典：えどがわ産業ナビ

<https://edogawanavi.jp/>



## カ. 主な助成金事業

- 新製品・新技術開発支援事業
- 公設試験研究機関等利用促進
- ものづくり人材育成支援事業
- 人材確保定着推進
- 販路拡大支援事業
- ISO 認証取得、エコアクション 21 認証取得、プライバシーマーク認定取得
- 知的財産権の出願
- 事業継続計画（BCP）の策定
- デジタル技術活用促進助成事業（DX 導入）、デジタル技術活用促進助成事業（IT 導入）、デジタル技術活用促進助成事業（専門家による事前診断・戦略策定等）
- 商店街空き店舗対策家賃助成事業
- 江戸川区ものづくり企業地域共生推進支援事業
- 創業促進助成事業（内容は令和 5 年度のもの、変更の場合あり）

[https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e032/shigotosangyo/jigyosha\\_oen/sangyo\\_jigyosya/jyosei/index.html](https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e032/shigotosangyo/jigyosha_oen/sangyo_jigyosya/jyosei/index.html)



## 5. 城東支部とのつながり

城東支部としての江戸川区との主な取り組みとしては、産業ときめきフェア in EDOGAWA への出展（11 月）、江戸川区商店街プロデュース事業などがある。



## 江戸川区に聞く

江戸川区 産業経済部 産業経済課長 木村 浩之



### ■BCP（事業継続計画）

江戸川区では特に水害の影響が大きいと考えています。そこで、令和元年（2019年）に「江戸川区水害ハザードマップ」を策定し、区民や事業者に注意を呼びかけました。陸域の7割が海拔ゼロメートル地帯にあり、大規模な浸水が起きると2週間以上は水が捌けないと見積もっています。江戸川区は職住近接のため、事業者には事業継続だけでなく、住民としての安全確保も大切にしていきたいと思えます。

目の前の問題に追われている事業者にとって、現状ではBCPへの取り組みが十分とは言えません。江戸川区は事業者の横のつながりが強くありますので、事業者同士で刺激を受け合ってBCPに取りかかるような広がりを目指しています。

区としては、BCP策定にかかる助成金を制度化しています。事業者だけでBCPの策定を進めていくのは難しい面もありますので、コンサルタント契約や内外の研修に要する費用を2分の1（上限20万円）まで助成します。これは企業の付加価値を高める取り組みに対する支援です。事業者には今後ますます企業の付加価値が求められていくと私たちは考えています。助成金はその流れを後押ししていく施策です。

### ■物価高対策

価格転嫁ができていない事業者と、そうでない事業者の二極化が進んでいると聞いています。新型コロナウイルスが流行していたころから取引先と地道に交渉を続けていた事業者は価格転嫁に成功している傾向があります。小規模な事業者では取引先との力関係に左右されるので価格交渉そのものがしづらい、というのは承知しています。

厳しい事業環境のなかで融資の返済が滞らないよう、江戸川区では利便性の高い借り替えの制度を設けています。ただ、小規模な事業者が自力で事業計画や経営改善計画を作る難しさもありますので、広く事業者の経営相談ができる中小企業診断士には期待を寄せています。

また、令和5年（2023年）に江戸川区内の中小企業を支援するため「活力ある区内産業を推進する条例」を制定しました。国や商工会議所等とも連携しながら事業者の課題が解決できるよう、相談体制の整備や、創業および事業承継の支援を図っています。

（令和6年2月取材）

## 第3章 葛飾区

### 1. 葛飾区の概要

#### (1) 葛飾区の歴史

昭和7年（1932年）の市郡合併によってそれまでの南葛飾郡は廃止され、金町、水元、本田、奥戸、南綾瀬、亀青、新宿の7カ町村を併合し東京市葛飾区が誕生した。「かつしか」の「かつ」は丘陵や崖など、「しか」は低地の意味をもっており、地域的な景観から名付けられたと考えられている。

世帯数	248,376
人口	男性 232,411
	女性 234,362
総数	466,733
令和6年2月1日現在	

#### (2) 葛飾区の地理

葛飾区は東京都の東北端に位置し、形は尾ひれを上に向けた金魚に似ている。

西に荒川、東に江戸川、中央に中川が通る水辺のエリアである。東西約5km、南北約8kmで、面積は34.80km<sup>2</sup>あり、23区中7番目の広さである。



#### (3) 葛飾区の名所・見どころ

日本映画史に残る名作「男はつらいよ」の舞台として知られる下町情緒あふれる柴又を始め、季節の花木が楽しめる公園、庭園が点在する。「こち亀」の亀有、「キャプテン翼」の四つ木など漫画・アニメのゆかりの地としても有名。街のいたる所に銅像が設置され、銅像を探しながらの観光も人気である。

主な観光名所	主な年中行事など
柴又帝釈天 (経栄山題経寺)	納涼花火大会 (10月) 寅さんサミット (11月)
堀切菖蒲園	葛飾菖蒲まつり (6月)
都立水元公園	葛飾菖蒲まつり (6月)
亀有	香取神社例大祭 (9月)
立石	立石フェスタ (9月)

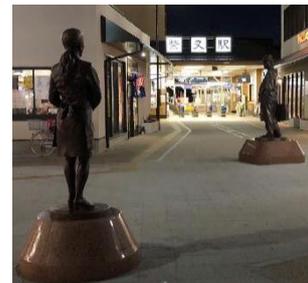
“大人の遊園地”や“昼酒の聖地”等の異名をもち下町風情あふれる立石など、魅力あふれる葛飾区である。



亀有駅前のこち亀キャラクター



キャプテン翼の名シーンを再現して撮影可能



柴又駅前の寅さんとさくら像

## 2. 葛飾区の産業の特徴と状況

### (1) 葛飾区の特徴と状況

総事業所数は、15,600 で 23 区中 18 位であるが、製造業の事業所数は 2,329 で、大田区、足立区、墨田区に次ぎ 23 区中第 4 位（令和 3 年経済センサス活動調査）である。ただし大工場は少なく、中小零細工場が多い特徴がある。全体の事業所数は減少傾向にあり、製造業の事業所数も減少傾向にある。

また、葛飾区では、江戸切子など、区内で受け継がれている工芸品を葛飾区伝統工芸品として 46 品目を指定するとともに、その製造に従事する技術者のうち、高度の伝統的な技術・技法を保持する方を、葛飾区伝統工芸士として認定している。さらに伝統産業販路拡大支援事業による製品の販路拡大（葛飾区伝統産業館、ネット販売等）など、その振興に力を入れている。

### (2) 葛飾区の産業と課題

#### ア. 葛飾区の工業の特徴

##### ①葛飾区の工業の状況

葛飾区は、東京都城東地域の一面に位置する東京都における代表的な工業集積地域である。玩具、工業用ゴム、シャープペン・ボールペン、ボルト・ナット、装身具などは、全国的においても葛飾区が主要な生産地となっている。しかし、その大半が従業者 6 人以下の小規模工場で、1 工場当たりの出荷額も 23 区中下位に位置している。

葛飾区の工場の大きな特徴は、経営者の約 7 割、従業者の約半数が区内に居住している「職住近接型」という点が挙げられる。

（葛飾区ホームページ：葛飾区製造業の概況・葛飾区工業の歴史より）

##### ②葛飾区の工業の課題

工業統計（従業者 4 人以上の製造業の事業所を対象にした統計）によれば、事業所数、従業者数は年々減少している。この減少理由は、都市部製造業の減少理由と同様に、東アジアへの海外シフト、マンション等住居建設に伴う騒音その他操業環境悪化、後継者難による廃業などが挙げられる。

年	事業所数 (従業者 4 人以上)	事業所数 推移 (%) 平成 24 年 100	従業者数 (人)	従業者数 推移 (%) 平成 24 年 100	製造品出 荷額 (億円)	製造品出荷 額推移 (%) 平成 24 年 100
平成 24 年	1,058	100.0	11,507	100.0	1,815	100.0
平成 28 年	884	83.5	9,452	82.1	1,726	95.0
令和 3 年	543	51.3	7,406	64.3	1,570	86.5

出典：経済センサス活動調査より、筆者作成

## イ. 葛飾区の商業の特徴

### ①葛飾区の商業の状況

葛飾区内における事業所の商業の分布を地区別に見ると、亀有、青戸、立石の順に多い。3 エリア合計で、事業所数の 25.9%を占める。商業集積地区別に見ると、亀有地区に 13.9%の事業所が集積している（第 67 回葛飾区統計書）。特に平成 18 年（2006 年）3 月にオープンした都内有数規模のショッピングセンターアリオ亀有（亀有 3 丁目）内には約 130 の専門店がある。

### ②葛飾区の商業の課題

令和 3 年の商業の年間商品販売額は 6,899 億円。平成 24 年（2012 年）の 6,308 億円に比べると 109.3%の水準に上昇しており、従業者数も増加傾向にある。一方で、事業所数は減少しており、アリオ亀有に代表される大規模商業施設への集約化の傾向が見られる。

年	事業所数	事業所数 推移 (%) 平成 24 年 100	従業者数 (人)	従業者数 推移 (%) 平成 24 年 100	年間商品販 売額 (億円)	年間商品販 売額推移 (%) 平成 24 年 100
平成 24 年	3,192	100.0	21,066	100.0	6,308	100.0
平成 28 年	3,075	96.3	22,749	107.9	7,331	116.2
令和 3 年	2,535	79.4	23,661	112.3	6,899	109.3

出典：経済センサス活動調査より、筆者作成

## ウ. 葛飾区の農業の特徴

### ①葛飾区の農業の状況

葛飾区は、23 区の中で農業が存続している数少ない地区であり、農業者世帯数は 163 世帯、約 34 ヘクタールの農地を有している。「とれたて・イキイキ葛飾元気野菜」のブランドとして、主に小松菜・枝豆・ねぎ・キャベツ・ブロッコリーなどが栽培されている。JA 東京スマイル葛飾元気野菜直売所（柴又）始め、区内の葛飾元気野菜「取扱店」「使用店」で購入が可能である。（葛飾区ホームページ：葛飾の農業より）

### ②葛飾区の農業の課題

農業世帯数・農地面積いずれも減少傾向であり、認定農業者の支援や農業応援サポーターの養成による担い手の育成、販路の拡大や高付加価値化などが課題となっている。

### 3. 葛飾区の特徴的な取り組み

#### (1) 葛飾区地域ブランド認定

区内の製造業者が高い技術を駆使して製造した製品・部品等を、地域ブランド「葛飾町工場物語」として平成19年(2007年)から認定・PRしている。

<https://katsushika-brand.jp/>



KATSUSHIKA



町工場物語®

#### (2) 柴又地区の重要文化的景観認定

平成30年(2018年)2月に国の重要文化的景観として、柴又地区が認定された。増加する外国人を始め、観光客へ下町柴又の魅力をアップするニュースとして、注目されている。「寅さんサミット」始め、多くの柴又地区ならではのイベントを開催し、近隣商店への集客増へ繋げている。

<https://torasan-summit.jp>



#### (3) かつしか電子まっぷ

令和3年(2021年)9月にリニューアルされた「かつしか電子まっぷ」は、葛飾区の施設、防災、都市計画等の各種地図情報を整理・統合したサービスである。葛飾区の情報について、目的を絞り地図上に落とし込んで検索・閲覧可能である。

<https://www.sonicweb-asp.jp/katsushika>



### 4. 葛飾区の施策

#### (1) 葛飾区の基本計画

- ・葛飾区基本計画(令和3年～令和12年)

葛飾区では令和7年(2025年)以降、人口減少が継続することが見込まれている。区では「葛飾区基本計画」を策定し、「夢と誇りあるふるさと葛飾の実現」「区民との協働による、いつまでも幸せに暮らせるまちづくり」を基本方針として、14の葛飾・夢と誇りのプロジェクト、SDGsが目指す経済・社会・環境の全ての面における発展に向け、成長と成熟が調和した持続可能なまちづくりを進めている。

[https://www.city.katsushika.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page/001/026/967/honpenzentai.pdf](https://www.city.katsushika.lg.jp/_res/projects/default_project/_page/001/026/967/honpenzentai.pdf)



#### (2) 葛飾区の産業支援

##### ア. 主要なイベント、認定事業等

葛飾区産業フェア10月・町工場見本市2月・葛飾町工場物語(応募4～6月)

区内製造業が高い技術を駆使し製造した製品や部品等を、葛飾ブランド「葛飾町工場（まちこうば）物語」として認定し、ストーリー性豊かに全国へ発信している。

また令和 7 年（2025 年）には、亀有駅近くに「こち亀」をテーマにした観光施設のオープンも計画されている。

#### イ. 主な補助金事業

葛飾区内の中小企業向けの補助金制度として以下のような事業がある。製造業を重点にした施策が多い。

- 製品性能試験費用補助事業
- ホームページ作成費補助
- 見本市出展費補助事業
- 知的所有権取得費補助事業
- 新製品・新技術開発補助事業
- 動力プレス機械自主検査補助金
- 産業人材育成支援補助事業
- ものづくり企業地域共生事業費助成

<https://www.city.katsushika.lg.jp/business/1000011/1034399/index.html>



#### ウ. 東京理科大学との産学公連携推進事業

東京理科大学が、平成 25 年（2013 年）4 月に葛飾区金町に「葛飾キャンパス」を新たに開設し、葛飾区は、東京理科大学と葛飾区内事業者の連携推進に向けての事業を開始している。

具体的には、区内事業者と大学研究室の相互理解や交流促進、共同開発や技術協力などを目的として、共同研究事例の創出や、共同研究事例テーマ創出セミナー「テクノロジーカフェ」の開催など、さまざまな産学公連携推進事業を実施している。

#### 5. 城東支部とのつながり

城東支部としての、葛飾区との主な取り組みとしては、葛飾区立中央図書館・立石図書館ビジネス相談会並びにビジネスセミナー、葛飾区創業塾並びにかつしか経営塾の開催等がある。



## 葛飾区に聞く



葛飾区 産業観光部 産業経済課長 橋本 幸夫

### ■デジタル化の支援

令和6年度からの新事業として、区内の中小企業を対象としたデジタル化支援を実施します。金融機関と協働してセミナーの開催や事業の幅広い周知を行い、企業個々の実情に応じた個別・継続的な伴走支援や機器導入の補助など多岐にわたる手段で、なかなかアナログから抜け出せない企業やデジタル化につまずいている企業の後押しをします。機器導入の補助は、伴走支援においてとりまとめるデジタル導入診断書に基づいて企業が機器やサービスを導入する場合に、その費用の1/2を補助するものです。

さらに、現在行っているホームページ作成に対する補助金も充実させ、これにより、業務効率化や業績拡大に向けて取り組む区内中小企業を積極的にサポートします。

### ■物価高騰対策

葛飾区景況調査（令和4年度より開始）や産業団体との意見交換等から、コロナ後も中小企業の経営環境は依然として厳しいものと認識しています。その中で、エネルギー価格や原材料費の高騰が経営に与える影響を和らげ、事業の継続や経営の安定をサポートするために、令和4年度に続き令和5年度も「物価高騰緊急対策支援金」を実施しました。2回目となる今回は、申請手続きを紙ベースに加えてウェブでも可能とし、添付書類も簡素化したり、申請者の利便性向上を図りました。また、広報誌、ホームページ、SNS、関係団体との連携を強化し、事業の周知にも力を入れています。

今後も切れ目のない支援を継続して行い、この厳しい状況とともに乗り越えていくことを目指しています。

### ■BCP（事業継続計画）・環境対策

中小企業の災害対策に対して、「安全安心対策資金」として融資制度を設けています。企業が取引先からBCPの策定状況を尋ねられるケースも耳にしています。

また、環境対策についても、「ゼロエミッションかつしか」の実現に向けて、「環境・省エネルギー対策資金」という融資制度や「かつしかエコ助成金制度」などの補助制度を設け、企業がさまざまな取り組みを積極的に進められるような環境づくりをしています。

（令和6年2月取材）

## 第4章 江東区

### 1. 江東区の概要

#### (1) 江東区の歴史

江東区は江戸初期から埋立てを行い、木材・倉庫業、米・油問屋の町として栄えた深川地区（旧・東京市深川区）と、江戸近郊の農地として野菜を江戸市民に供給してきた城東地区（旧・東京市城東区）から成り立っている。明治時代になると、広い土地と水運を利用して、東京の工業地帯となった。「江東」の区名は、昭和22年（1947年）に「隅田川の東に位置する」という地理的な意味から、辰巳区、東区、永代区などの候補の中から選ばれた。

世帯数		290,059
人口	男性	264,538
	女性	274,562
	総数	539,100
令和6年2月1日現在		

#### (2) 江東区の地理

東京都の東部、隅田川と荒川に挟まれた位置にあり、東京湾に面している。元々低地であったが、かつて南関東ガス田の開発に伴う地下水の汲み上げにより地盤沈下したことで、区の大部分がゼロメートル地帯、または海面より低い海拔マイナス地帯となっている。面積は42.99 km<sup>2</sup>（「全国都道府県市区町村別面積調」（令和5年7月1日時点））あり、23区中6番目の広さである。

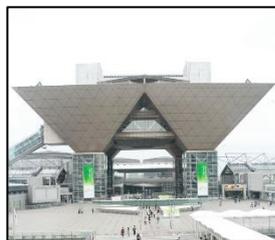


#### (3) 江東区の名所・見どころ

観光スポットとしては、右記に示した通り非埋め立てエリアに多く所在する歴史的な寺社や臨海エリアの大規模な複合商業施設などがあげられる。

平成30年（2018年）に開場した豊洲市場に隣接する商業施設「豊洲 千客万来」が令和6年（2024年）に開場しさらなる賑わいをみせている。東京2020オリンピック・パラリンピック会場では、江東区の湾岸エリアの10施設が利用された。

主な観光名所	主な年中行事
深川不動尊	初不動（1月）
富岡八幡宮	例祭（5月）
亀戸天神社	藤まつり（4月）
猿江恩賜公園	チューリップフェスタ（4月）
東京ビッグサイト	企業向け展示会など（随時）
豊洲市場	予約制見学など（随時）
豊洲 千客万来	温泉や場外市場など（随時）



東京ビッグサイト  
（東京国際展示場）



豊洲市場

## 2. 江東区の産業の特徴と状況

### (1) 江東区の特徴と状況

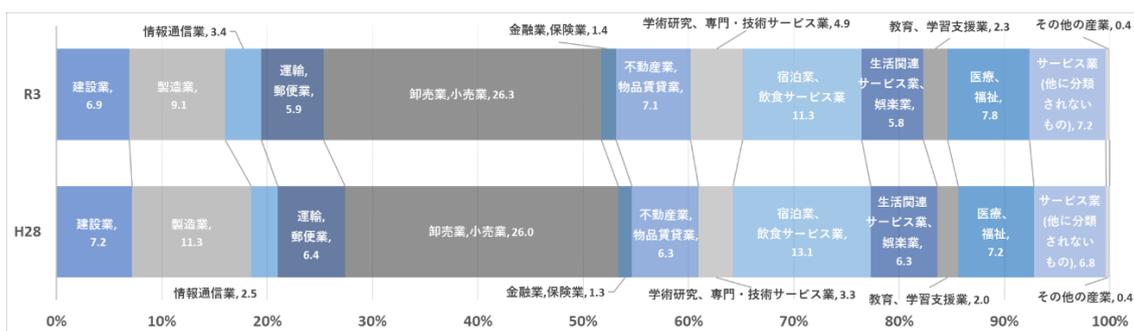
江東区は繊維（ニット）やガラス（江戸切子を含む）、木材や印刷といった産業が集積しているが、最近では情報関連業の集積が目立っている。また、臨海副都心地区の開発が進んでいることもあり、新しい文化・情報の発信、京浜・京葉の両臨海地帯を結ぶ陸路の物流拠点、国際港としての海運物流の拠点になっている。

令和3年経済活動センサスより事業者数は、19,443で23区中13番目、従業員数は、395,707人で7番目となっている。平成28年経済活動センサスでは、事業所が18,024、従業員数が356,931人となっていたため、事業所の増加に伴い、従業員数も増加していることがわかる。

事業者について、令和3年（2021年）では、卸売業・小売業（26.3%）が最も多く、宿泊業・飲食サービス業（11.3%）、製造業（9.1%）と続いている。平成28年（2016年）と比較して、特に増加している事業所は、学術研究、専門・技術サービス業である。令和3年（2021年）には、601⇒943（増加率56.9%）となっており、構成比も3.3%⇒4.9%となっている。特に減少している事業所は、製造業である。製造業は、2,028⇒1,776（同▲15.8%）となっており、構成比も、11.3%⇒9.1%と低下している。

従業員数は、卸売業・小売業（21.1%）が最も多いのは、事業者数の構成割合と同じだが、次いで情報通信業（17.3%）、運輸・郵便業（11.2%）となっている。特に増加しているのは、学術研究・専門・技術サービスで、9,913人⇒16,200人（同63.4%）となっており、構成比も2.8%⇒4.1%と増加している。特に減少しているのは、事業所数と同様に製造業で、31,047人⇒21,810人（同▲29.8%）となっており、構成比も8.7%⇒5.5%と減少している。

業種別事業者数構成比



出典：経済センサス活動調査より、筆者作成

## 業種別従業者数構成比



出典：経済センサス活動調査より、筆者作成

## (2) 江東区の産業と課題

### ア. 江東区の工業

#### ①特徴

江東区の工業は明治時代以降、広大な土地と水運が充実していたことを背景に、繊維、木材、ガラス、印刷、製本、金属加工といった産業が発達し、東京の工業地域の一角を担っている。さらに江東区は、京浜・京葉の両臨海地帯を結ぶ陸路の物流拠点として、また、青海コンテナふ頭やフェリーふ頭(有明)、若洲建材ふ頭などの東京港は国際港であり、海運物流の拠点となっている。

#### ②課題

製造業・卸売業等は、コロナ前と比較しても業況は持ち直している。令和5年度(2023年)第1・四半期の景況調査において、製造業では、売上および収益の減収傾向も改善している。一方、卸売業は、売上が減少し、収益も減収傾向である。

情報通信業や専門・技術サービス業等は比較的景況が良く、売上高が拡大している事業所が多く見られ、業種間で大きな差が見られる。こうした業種間の差を踏まえ、区産業全体の振興を図る連携事業等の検討をしていくことが必要となっている。(2022年3月江東区産業実態調査における現状と課題 P4)

### イ. 江東区の商業

#### ①特徴

人口の顕著な増加等により、商業の環境としては好条件である。大型商業施設の新規参入やコンビニエンスストアの店舗数が増加しているが、大型商業施設は臨海部や中南部に集中している。江東区の商業の突出的な特徴として、サービス業の代表格である情報関連業の伸びが著しい。平成21年(2009年)には451と10年で約3倍に増加し、令和3年(2021年)では、さらに増加し668となっている。(令和3年経済センサス活動調査より)

## ②課題

小売業・サービス業等は、コロナ前と比較しても業況は持ち直している。令和5年度(2023年)第1・四半期の景況調査において、小売業では、売上は減少幅が多少拡大し、収益はほぼ前期並の減少・減益幅で推移した。一方、サービス業では、売上と収益はともに減少・減益傾向が大幅に改善された。

区内商業は主になじみの店等の理由で、比較的高齢層の区民によって支えられている側面が大きい。なじみの店であることを強みと捉える事業所が多い一方、区民は品揃えが豊富であることを求めており、認識の違いが見られる。商店主の売上向上セミナーの実施、相談窓口の設置によるアドバイス等による魅力的な商業地域づくりに向けた支援が重要である。

特に飲食料品については、区内の中小商店を利用する区民も一定数いるが、年代で比較すると30歳代では少なく、インターネット通販や区内のスーパーやショッピングセンター等の割合が大きく、機会損失が起きている可能性があるため、若い住民が多い地域では若者向けに個店PRを行う等の余地があると考えられる。(2022年3月江東区産業実態調査における現状と課題 P13)

### 3. 江東区の特徴的な取り組み

#### (1) 江東区ものづくり団地(江東ブランド)の認定

優れた技術でものづくりを行い、それを守りながら継承し、発展を続けている企業を「江東ブランド」として認定している。認定企業への支援としては、以下の通り示す。

- 展示会や見本市など製品や技術をPRできる場の提供
- 認定企業紹介パンフレットの発行・配布
- 認定企業情報を発信するための専用ウェブサイトへの掲載
- 認定企業を軸とした交流会の開催
- 江東ブランド認定ロゴマークの付与

<https://kotobrand.jp/>



#### (2) 江東みつばちプロジェクト®(豊洲商友会協同組合)

「豊洲ブランド」を作ろうと、豊洲の明るいイメージや地産地消に合うものとして養蜂事業を開始。ビルの屋上で採れた蜂蜜の販売に加え、商店街の各店舗で製品開発を行い、豊洲名物を製造・販売した。同時に蜂の蜜を集めるための「花いっぱい運動」「清掃活動」を実施し、地域の美化も行った。また、いくつかの大学の花粉採取調査にも協力している。

商店街として新たに名産品を作ろうという気概あふれた取り組みであり、各店舗で蜂蜜を活用した商品開発を行うことで、商店街に一体感が生まれている点が評価され、第13回東京商店街グランプリ優秀賞を受賞した。

<http://koto-mitsubachi.org/>



#### 4. 江東区の施策

##### (1) 江東区の基本計画

###### ア. 江東区基本構想（平成 21 年 3 月策定）

おおむね今後 20 年を展望した江東区の姿を「みんなで作る伝統、未来 水彩都市・江東」として将来像に定めたほか、その実現を図るための施策の大綱は下記 5 つの大項目で示されている。

- 水と緑豊かな地球環境にやさしいまち
- 未来を担うこどもを育むまち
- 区民の力で築く元気に輝くまち
- ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち
- 住みよさを実感できる世界に誇れるまち

<https://www.city.koto.lg.jp/010162/kuse/shisaku/koso/5472.html>



###### イ. 新しい江東区長期計画（令和 2 年度～11 年度）

本長期計画では「地下鉄 8 号線の延伸」を重要課題とし、重点的な取り組みとして、下記 7 つの重点プロジェクトを掲げ、施策を横断的に連携させながら着実に取り組んでいる。

- 水彩・環境都市づくり
- 未来を創るこどもを育むまちづくり
- 地域の活力を生み出すまちづくり
- 高齢者など誰もが支えあう社会づくり
- 防災都市江東戦略
- オリンピック・パラリンピックレガシーの継承
- 臨海部のまちづくり

<https://www.city.koto.lg.jp/010162/kuse/shisaku/kekaku/kekakur0211/choukikeikaku0211.html>



##### (2) 江東区の産業支援

###### ア. 相談対応

- 経営相談
- 税務相談
- 労務相談
- 経営相談
- 産学公連携相談窓口（東京商工会議所）
- 技術相談窓口（東京産業技術研究センター）

<https://www.city.koto.lg.jp/sangyoshigoto/chusho/sodan/index.html>



#### イ. 各種補助金

- 江東区自動車運送事業者補助金
- ICT等導入支援事業
- 小規模な産学連携共同研究補助金
- 知的財産権取得費補助
- 広告宣伝費補助
- 中小企業団体活動助成
- 環境認証等取得費補助
- 展示会等出展費補助
- ホームページ作成費補助
- 都立産業技術研究センター利用補助金
- 創業支援事務所等賃料補助金

<https://www.city.koto.lg.jp/sangyoshigoto/chusho/hojokin/index.html>



#### ウ. 創業支援

- 創業相談（相談員による支援）
- 江東区創業支援等事業・特定創業支援等事業（個別講義・セミナーによる支援）

<https://www.city.koto.lg.jp/sangyoshigoto/chusho/sogyo/index.html>



#### エ. 後継者・人材育成

- KOTO わくわくワークチャレンジ
- インターンシップ事業
- 産業スクーリング事業

<https://www.city.koto.lg.jp/sangyoshigoto/chusho/kokesha/index.html>



#### オ. 産業情報の提供

- ビジネスサポートサービス
- 中小企業景況調査
- 中小企業支援施策ガイド
- 江東区中小企業情報誌「こうとうの産業」

<https://www.city.koto.lg.jp/sangyoshigoto/chusho/tekyo/index.html>



#### カ. 講座・セミナー・イベント

- 補助金・助成金等事業説明会
- 創業支援セミナー
- 経営戦略支援セミナー

- 産業展

<https://www.city.koto.lg.jp/sangyoshigoto/chusho/eve>



キ. その他中小企業支援事業

- 小規模事業者持続化補助金（日本商工会議所の支援策）
- 中小企業等経営強化法に基づく先端設備等導入計画の認定について
- 消費税の円滑かつ適正な転嫁
- 中小企業団体登録
- 産業会館・商工情報センター利用に伴う中小企業者登録
- 公衆浴場対策事業

<https://www.city.koto.lg.jp/sangyoshigoto/chusho/jigyo/index>



5. 城東支部とのつながり

城東支部としての、江東区との主な取り組みとしては、以下を目的に「江東区中小企業診断士会」が活動している。

- 江東区内の行政、金融機関、商工団体、商工事業者に対する相談対応の提供
- 会員による経営支援サービス

<https://joto-smeca.com/committee/committee-cat/cate02/>



## 江東区に聞く



江東区 地域振興部 経済課長 上原 新次

### ■BCP（事業継続計画）とデジタル技術活用

災害時に備えて、クラウドサービスなどのデジタル技術を活用しておくことで業務の迅速な復旧が可能になると考えています。そのため、江東区では、中小企業向けのデジタル化支援策の「ICT 等導入支援事業」等を通じて積極的に推進しており、BCP 策定においてもデジタル技術の活用を促進していきます。本年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震の被害等により、改めて中小企業の BCP の重要性が叫ばれており、区としても引き続き関係機関と連携し、区内事業者の BCP 策定に向けた支援に取り組んで参ります。

### ■物価高、円安など最近の情勢を踏まえた取り組み

江東区では、物価高や円安の影響を受けやすい中小企業に対して複数の取り組みを実施して、支援しております。例えば、物価高による個人消費の低下を考慮し、区内の消費促進策として、総額 18 億円のプレミアム付の区内共通商品券発行により区内経済の活性化と消費拡大を図っていきます。また令和 4 年度に創設された「原油価格・物価高騰対策資金」を令和 6 年度も延長することで、利子補助や信用保証料の優遇措置を図ります。加えて、令和 6 年度は、トラック運送やバス・タクシー事業者等の区内運送事業者向けに「江東区自動車運送事業者補助金」も実施いたします。令和 5 年度の補正予算においては、区内中小企業を対象とし、水道光熱費・燃料費等の必要経費に対して上限 20 万円を補助する「エネルギー価格高騰対策支援事業」予算を計上し、6 月中旬頃に申請開始できるように準備を進めております。

### ■脱炭素

脱炭素への取り組みは、地球環境を守るだけでなく、経済的な観点からも重要であり、再生可能エネルギー産業の育成やエネルギー効率の向上により、新たな雇用創出や産業競争力の強化が期待されると認識しております。これらへの取り組みは、区のみならず、産業・経済団体や消費者も含めた取り組みにより実現されるものであるため、区経済課としては、国や都、庁内温暖化対策部門の施策に関する周知・啓発に取り組んで参ります。

(令和 6 年 2 月取材)

## 第5章 墨田区

### 1. 墨田区の概要

#### (1) 墨田区の歴史

墨田区は近代産業の発祥の地であり、区内産業に従事する区民の割合が多く、区内産業と区民生活が密接に関わる「産業のまち」であった。昭和22年（1947年）3月15日に北部の向島区と南部の本所区が一つとなって墨田区が誕生した。墨田の名は、隅田川堤の通称「墨堤」の墨と、隅田川の田から名付けられた。

世帯数	167,245	
人口	男性	140,264
	女性	144,552
	総数	284,816
令和6年2月1日現在		

#### (2) 墨田区の地理

墨田区は東京都の東部、江東デルタ地帯の一部で、隅田川、旧綾瀬川、荒川、旧中川などを区界とする水辺と緑に囲まれた町である。区の形は南北にやや長く、東西約5km、南北約6kmで、面積は13.77km<sup>2</sup>あり、23区中17番目の広さとなっている。



墨田区は、東京23区中17番目の広さ

#### (3) 墨田区の名所・見どころ

歴史や自然を含めて東京を象徴する観光資源に恵まれており、ものづくりのまちにちなんだイベントも開催されている。また、隣接する浅草からスカイツリー方面への移動による外国人観光客の訪問も多い。

主な観光名所	主な年中行事
隅田川	隅田川花火大会（7月）
東京スカイツリー 東京ソラマチほか	すみだストリートジャズフェスティバル（10月）
すみだ北斎美術館 ほか	葛飾北斎に関する各種企画展示
江戸東京博物館	休館（令和7年度までを予定） 休館前の常設展や、館の収蔵品をオンラインで楽しむことができるバーチャル・ミュージアムを提供中
牛嶋神社	牛嶋神社祭礼（9月）
錦糸公園	すみだまつり・こどもまつり（10月）
国技館	大相撲興行

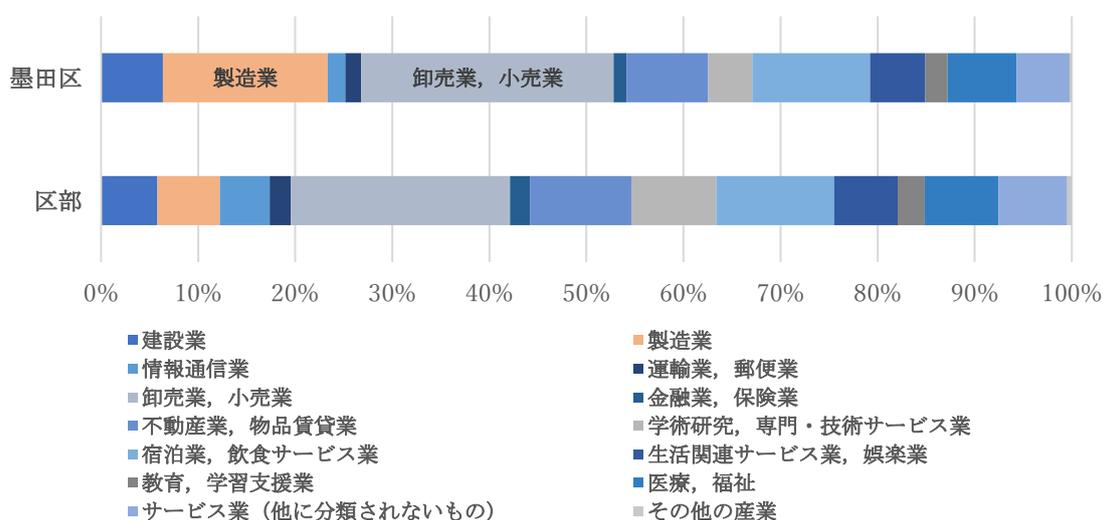
### 2. 墨田区の産業の特徴と状況

#### (1) 墨田区の特徴と状況

墨田区の産業は、製造業の占める割合が高く、東京23区の中でも屈指の「ものづくりのまち」といえる。さまざまな業種の中小企業が集積し、日常生活関連用品や技術の供給地となっている。さらに近年は、平成24年（2012年）の東京スカイツリー開業など、大規模開

発や交通網の発展により状況が大きく変化している。しかしながら、後継者問題などから中小企業を取り巻く状況は厳しく、工場や小売業商店数が減少傾向にある。

産業大分類別事業所数の構成比



注) 「その他の産業」とは、「農林漁業(個人経営を除く)」、「鉱業、採石業、砂利採取業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「複合サービス業」の合計

出典：令和3年度経済センサス活動調査より、筆者作成

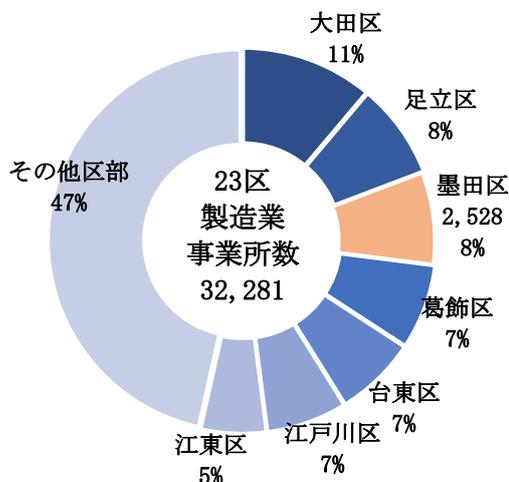
## (2) 墨田区の産業の課題

### ア. 墨田区の工業の特徴

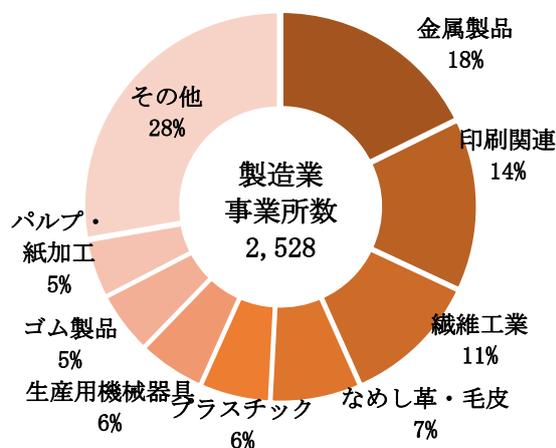
墨田区の工業は、日用消費財を供給する一大生産拠点として、ニット、皮革等の雑貨を中心に、関連の機械金属工業(日用消費財の金属部分を担うプレス、メッキ等)が集まって、全国有数の都市型工業集積を形成した。

製造業の中国や東南アジア等海外へのシフト、工場周辺でのマンション建設の増加などによる操業環境の悪化、また後継者難の問題もあり、製造業事業所数は減少傾向にあるものの、23区では3位の事業所数となっている。

23 区の製造業事業所数

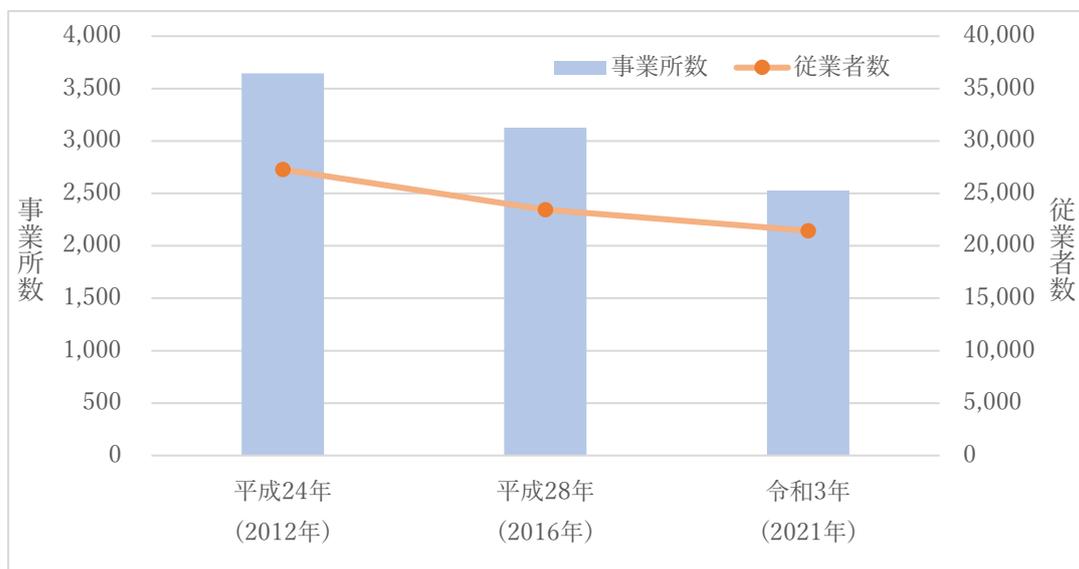


墨田区の製造業事業所数の業種別構成比



出典：令和 3 年度経済センサス活動調査より、筆者作成

墨田区 製造業事業所数の推移 平成 24 (2012) - 令和 3 (2021) 年



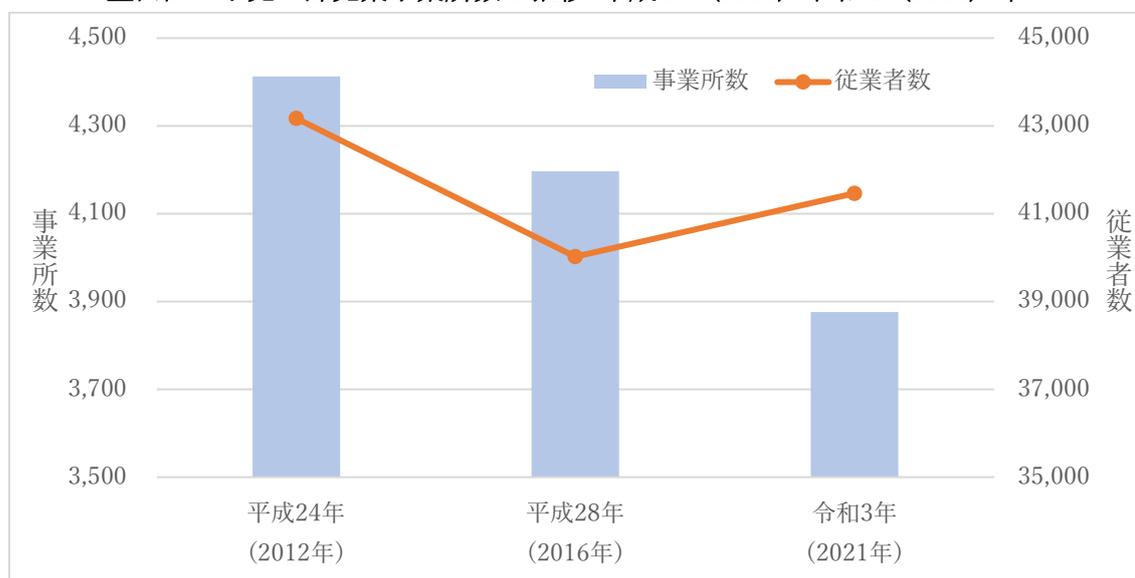
出典：経済センサス活動調査より、筆者作成

### イ. 墨田区の商業の状況

墨田区は、近年の交通環境の発展や東京スカイツリー開業等による大型店の進出が加速しており、小売業商店は厳しい競争にさらされている。このような環境下で、商店街や個店は後継者難、顧客減少、空き店舗増加や施設の老朽化など数多くの課題を抱えており、小売業商店数は減少してきた。一方で、1事業所当たりの従業者数は増加しており、比較的小規

模の事業者が廃業しているとともに、比較的規模の大きい事業者が残っている、または新規参入しているといった状況が伺える。

墨田区 小売・卸売業事業所数の推移 平成 24 (2012)年-令和 3 (2021) 年



出典：経済センサス活動調査より、筆者作成

### 3. 墨田区の特徴的な取り組み

#### (1) すみだモダン (すみだ地域ブランド戦略) の推進

東京スカイツリーの誘致を契機に、「ものづくりのまちすみだ」を区内外にPRするために平成 21 年度にすみだ地域ブランド戦略事業を開始。令和 3 年 (2021 年) には対象を「商品」だけでなく事業者の「活動」にも広げ、またロゴマークもリニューアルした。すみだらしい付加価値の高い商品等を「すみだモダン」と認証する「すみだモダンブランド認証事業」や、区内製造事業者とクリエイターとのコラボレーションによる市場価値の高い新商品開発を行う「すみだモダン フラッグシップ商品開発」を推進している。令和 4 年 (2022 年) にはすみだモダンの理念に共感した個人・団体・企業が参加できる「すみだモダンコミュニティ」をスタートした。

平成 28 年 (2016 年) には「産業観光まちづくり大賞」で経済産業大臣賞、平成 29 年 (2017 年) には「ふるさとづくり大賞」で総務大臣賞を受賞するなど、高い評価を受けている。

[https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo\\_jigyosya/sangyo/pr\\_brand\\_hyousyo/sumida-brand/brand.html](https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo_jigyosya/sangyo/pr_brand_hyousyo/sumida-brand/brand.html)



## (2) スミファ～すみだファクトリーめぐり

スミファは墨田区の町工場を巡って、職人と話をしたり技術に触れながら、ものが作られていく“現場”を肌で感じることでできる参加型イベントである。令和4年度（2022年）は、すみだの誇る町工場36社が参加し、3年ぶりとなるリアル開催で行われた。

<https://sumifa.jp/>



## (3) 墨田区産業共創施設 SIC (SUMIDA INNOVATION CORE)

スタートアップと墨田区内の学生起業家を支援し、区内のものづくり企業との交流・共創を生み出す拠点「墨田区産業共創施設 SUMIDA INNOVATION CORE（スミダ イノベーション コア）」が、令和5年（2023年）10月に開設された。「ものづくりのまち」として蓄えた技術・人材と地域ネットワークを活かして、スタートアップを支え、墨田区のものづくり企業との共創を育み、プレシード・シード期を中心に、ミドル期まで幅広く支援していくことを目指している。



<https://sic-sumida.net/>



## 4. 墨田区の施策

### (1) 墨田区の基本計画

- ・墨田区基本計画（令和4年改定）

平成17年（2005年）策定の「墨田区基本構想」を実現するための「墨田区基本計画」を、環境変化に合わせて改定した。当計画では、これまでの施策の達成状況や社会経済情勢の変化およびSDGs（持続可能な開発目標）の理念などを踏まえ、持続可能なまちとして墨田区の発展を見据えている。

[https://www.city.sumida.lg.jp/kuseijoho/sumida\\_kihon/kihonkeikaku/kihonk4/r4-keikaku.html](https://www.city.sumida.lg.jp/kuseijoho/sumida_kihon/kihonkeikaku/kihonk4/r4-keikaku.html)



### (2) 墨田区の産業支援

#### ア. 産業と観光の将来構想～あえる！～（令和4年）

これまでの産業振興および東京スカイツリー開業を契機とした観光振興を一体化した取り組みである。産業と観光の切り口でさまざまな社会課題を解決し、持続可能なまちを実現するための構想を新たに策定した。長期的なビジョンとして「本気の夢中が出会い、世界からも注目されるまち。」を掲げている。

[https://www.city.sumida.lg.jp/kuseijoho/sumida\\_kihon/ku\\_kakusyukeikaku/sangyou\\_AERU.html](https://www.city.sumida.lg.jp/kuseijoho/sumida_kihon/ku_kakusyukeikaku/sangyou_AERU.html)



#### イ. 3M（スリーエム）運動

墨田区の産業 PR とイメージアップ、地域活性化を図る事業である。「小さな博物館」(Museum)、「マイスター」(Meister)、製販一体の「工房ショップ」(Manufacturing shop)の3つの頭文字をとって「3M（スリーエム）運動」と呼ぶ。産業分野を伝統工芸、ガラス製品、革製品、食用品・日用品・木工品などに分類し、それぞれの認定事業者を紹介することで、区の優れた産業をアピールしている。

[https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo\\_jigyosya/sangyo/pr\\_brand\\_hyousyo/sumida3m/index.html](https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo_jigyosya/sangyo/pr_brand_hyousyo/sumida3m/index.html)



#### ウ. フロンティアすみだ塾

中小企業の後継者または若手経営者を対象に、次代を担う人材の育成を目指す私塾形式のビジネススクールを行っている。経営の知識や心構えの教授だけでなく、本音討論や区内企業の現場見学も通じ、経営課題を自ら考え克服する力を鍛錬・養成している。運営は、区、関係機関、区内産業人で構成する「すみだ次世代経営研究協議会」が実施する。

<https://frontier-sumida.com/>



#### エ. すみだビジネスサポートセンター（すみサポ）

区役所1階に無料の経営相談窓口を設置している。創業相談や販路拡大、ものづくりの困りごとまで総合的なアドバイスを受けられる。また測定・試験機器や3Dプリンタも設置されていて、有償利用可能となっている。

[https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo\\_jigyosya/sangyo/soudan/sbsc/2017sbsc-open.html](https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo_jigyosya/sangyo/soudan/sbsc/2017sbsc-open.html)



#### オ. 各種補助金、助成金

下記のように、ものづくりや商店街支援の補助金を中心に、各種補助金、助成金が用意されている（下記は令和5年度の例）。

- 墨田区生産性向上等支援補助金
- 墨田区ものづくり企業地域共生推進助成金
- 墨田区人材確保・定着支援補助金
- 依頼試験等利用補助金
- 区内生産品等販路拡張事業補助金
- ファッション産業人材育成支援事業
- ものづくりプロモーション推進補助金
- アウトオブキッズニア in すみだ
- 墨田区商店街連合会の事業
- 商店街チャレンジ戦略支援事業

- 商店魅力アップ支援事業
- ワンモール・ワントライ作戦推進事業
- 観光分野における他団体の補助事業等のご案内

[https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo\\_jigyosya/sangyo/hojokin\\_joseikin/index.html](https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo_jigyosya/sangyo/hojokin_joseikin/index.html)



#### カ. 融資制度（商工業融資）

下記のように、区内中小企業の事業経営上必要な資金の調達を容易にするための商工業融資が設けられている（下記は令和5年度の一例）。

- 原油価格・物価高騰等緊急対策資金
- M&A 資金
- 事業承継支援資金
- 設備・環境改善資金（二酸化炭素削減）
- チャレンジ支援資金

[https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo\\_jigyosya/sangyo/yuusi/index.html](https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo_jigyosya/sangyo/yuusi/index.html)



#### 5. 城東支部とのつながり

城東支部としての墨田区地域との主な取り組みは、東向島駅前商店街振興組合への夏祭り・冬祭りの年2回の支援や活性化支援がある。また、たもんじ交流農園や寺島・玉ノ井地域のブランディング支援を通じ特定非営利活動法人寺島・玉ノ井まちづくり協議会との連携支援等を行っている。

令和5年（2023年）には、当協議会が主催し、城東支部地域支援部が協力した「第2回寺島なす★祭り！」が開催された。城東支部地域支援部も、同協議会とのまちづくり活動の一つとして、このお祭りの企画立案から運営までを支援し、寺島なすをテーマにしたさまざまな企画を実施した。



## 墨田区に聞く

墨田区 産業観光部 経営支援課長 塩澤 満



### ■物価高騰対策

原油価格や物価高騰などの状況を鑑みて、令和6年3月より「原油価格・物価高騰等緊急対策資金」を実施します。こちらは、物価高騰のあおりは、すべての事業者が等しく受けているとの考えから、区内の中小事業者であれば誰でも利用できるという有利な融資となっています。なお、事業継続の後押しをするためには中長期的な支援が必要と考え、返済期間も5年間とし、さまざまな経営状況に合わせられるような融資内容としています。

また、電気料金等の価格高騰に対し事業経費の軽減を図り、経営改善につなげるため、区内中小事業者がLED照明器具を導入する場合、経費の一部を補助しています。こちらについては、中長期的な固定費削減につながるということで反響がよく、職場が明るくなったことにより生産性が向上したという話も聞いています。

### ■脱炭素への取り組み

すみだゼロカーボンシティ 2050 宣言を推進するため、二酸化炭素削減に資する設備を導入する場合には、「設備・環境改善資金」の上限枠を拡大して融資を実施しています。また、副次的な効果とはなりますが、前述のLED照明器具導入支援も脱炭素にむけた取り組みの一つといえます。

### ■事業継続、事業承継支援

事業継続、事業承継のための融資施策として「事業承継支援資金」と、事業継続手法の一つである「M&A 資金」を実施しています。良い事業があるにも関わらず事業承継ができずに廃業になってしまうことを避けたく、墨田区で培われてきた技術を残していくためにも積極的に活用していただければと思っています。

(令和6年2月取材)

## おわりに

執筆メンバーが各担当区の調査や行政担当者への取材を実施いたしました。調査や取材により各地区の特徴や現状、課題、対策について改めて知ることができました。また読者の皆様においても、本誌を通して、城東5区の概要を知っていただき、さらに深く知ってもらうきっかけになれば幸いです。

### 編集後記・第6版執筆者

#### 【墨田区】 森 晴美（第6版執筆リーダー）

墨田区の各種施策に込められた熱い思いを知ることができました。読者のみなさんにもこの思いが伝わると嬉しいです。



#### 【足立区】 沖 忠彦

地元足立区のことをより深く知ることができました。中小企業診断士の業務を通じて地元貢献していこうと思います。



#### 【江戸川区】 石川 慶成

江戸川区の取り組みや課題を少しでも読者の方々に伝えることができれば幸いです。今後も城東5区を応援して参ります。



#### 【葛飾区】 浦狩 敬生

葛飾区に住んで9年ちょっとですが、初めてのことだらけ。本稿にて葛飾区を知り、経営支援にお役立てください！



#### 【江東区】 三野 翔平

豊洲などの話題スポットだけでなく歴史も深く、産業も活気のある区だと再認識しました。今後も診断士活動で貢献して参ります。



発行元：東京都中小企業診断士協会 城東支部 地域支援部

城東支部ホームページ：<https://joto-smeca.com/>

印刷所：株式会社文優社

